

2026年5月14日

GMOインターネットグループ株式会社

GMO AI&ロボティクス商事株式会社

GMO インターネットグループ、 アジア初開催「Humanoid Summit 2026 Tokyo」にトップスポンサーとして出展 ～日本におけるヒューマノイド導入の加速と、安全で信頼性の高いロボット社会の実現～

「すべての人にインターネット」をコーポレートキャッチに、インターネットインフラ、広告、金融、暗号資産事業を展開するGMOインターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、2026年5月28日（木）～29日（金）、東京・高輪ゲートウェイコンベンションセンターで開催されるアジア初開催の国際イベント「Humanoid Summit 2026 Tokyo」（主催：ALM Ventures）に、トップスポンサーとして出展いたします。

本ブースでは「AIとヒューマノイドをすべての人へ。」を掲げるGMO AI&ロボティクス商事株式会社（代表取締役社長：内田 朋宏、以下GMO AIR）が中心となり、ヒューマノイドロボットの実機デモンストレーションをはじめ、AI・インターネットインフラ・サイバーセキュリティ技術を融合したGMOインターネットグループによるヒューマノイドロボットソリューションを紹介します。本出展を通じて、来場する国内外の企業・研究機関との連携を深め、人とヒューマノイドロボットが共存する未来社会の実現と、日本のヒューマノイドロボット・エコシステム発展への貢献を目指します。



展示ブースイメージ

【出展の背景】

■ヒューマノイド市場の急成長と日本の現状

GMOインターネットグループは、2026年を「ヒューマノイド元年」と位置づけております。ヒューマノイドロボットの技術革新は急速に進み、その市場は自動車産業を超えるとも言われております^(※1)。米国・中国・欧州では、メーカー、研究機関、投資家、導入企業が連携するエコシステムが形成され、技術開発から社会実装まで加速しています。日本においても、ヒューマノイドロボットの社会実装に向け、同様の連携を加速させることが急務となっております。

(※1) Morgan Stanley Research「Humanoids: A \$5 Trillion Market」(2025年5月)

■ GMO インターネットグループの役割

ヒューマノイドロボットの社会実装は、ロボットメーカー単独で完結するものではなく、AI・高性能サーバー・通信・サイバーセキュリティ・金融といった社会基盤との接続が不可欠です。GMO インターネットグループは、これらを一貫して提供するインターネット総合サービス企業として、ヒューマノイドロボットの社会実装に向けた安全性と信頼性を支える基盤を提供しています。

また、2026年4月7日には、面積・メーカー数・機種ともに日本最大級のフィジカル AI 研究開発拠点「GMO ヒューマノイド・ラボ 渋谷ショールーム」を開設しました^(※2)。世界最先端のヒューマノイドロボットと研究開発設備を集約した本拠地に、国内外のトップエンジニア・研究者を集積させ、グローバル競争力の向上に貢献しています。

本イベントへのトップスポンサーとしての出展を通じて、世界中から集結するヒューマノイドロボットメーカー・研究者・導入企業との連携を深め、国内ヒューマノイドロボット・エコシステムの発展に貢献してまいります。

(※2) 「【日本初】GMO インターネットグループ、面積・メーカー数・機種ともに日本最大、人型ロボット「ヒューマノイド」専用の大規模研究開発拠点「GMO ヒューマノイド・ラボ 渋谷ショールーム」を開設」2026年4月7日 <https://group.gmo/news/article/9977/>

【出展内容】

1. ブース

本ブースでは、GMO AIR が演出する未来社会のデモンストレーションを通じて、ヒューマノイドロボットと人間が協働する社会を体験いただけます。

- ・ 空港での大規模実証実験の紹介
- ・ 最新ヒューマノイドロボットの実機によるデモンストレーション
- ・ 「ヒューマノイド派遣サービス」の活用事例紹介
- ・ ヒューマノイドロボットの社会実装を支える、GMO インターネットグループのインフラ商材（高性能 GPU クラウド、専用回線、サイバーセキュリティ等）の紹介
- ・ 各業界の先進企業との連携によるヒューマノイドロボット社会実装事例の紹介

2. ステージ登壇

本イベントの全体講演では、GMO AIR 代表取締役社長・内田 朋宏が登壇を予定しています。ヒューマノイド導入の最前線に立つ事業会社の視点から、日本におけるヒューマノイド社会実装のリアルと展望をお伝えします。

Year One of Humanoids — Japan's Deployment Frontline

(ヒューマノイド元年— リーダーが語る日本の最前線)

GMO AIR 代表取締役社長 内田 朋宏

2026年は、ヒューマノイド元年。その主戦場となるのが、人口減少に伴う労働力不足という課題を抱える日本です。ヒューマノイド導入の先陣を切ってきた GMO AIR が、最前線のリアルをお届けします。



・日時：2026年5月28日（木）10:30～

【「Humanoid Summit 2026 Tokyo」について】

「Humanoid Summit」は、米国シリコンバレーを拠点とするベンチャーキャピタル ALM Ventures が主催する、世界中のヒューマノイド関係者が集結する国際イベントです。これまでにシリコンバレー、ロンドンで開催され、今回の東京開催はアジア地域で初めての開催となります。

■ 開催概要

名称	Humanoid Summit 2026 Tokyo
日程	2026年5月28日（木）～29日（金）
会場	高輪ゲートウェイコンベンションセンター（東京都港区）
主催	ALM Ventures（米国シリコンバレーを拠点とするベンチャーキャピタル）
参加対象	ヒューマノイドメーカー、ヒューマノイド導入検討企業、研究者ほか
参加登録（有料）	https://humanoidssummit.com/register
公式サイト	https://humanoidssummit.com/tokyo

【今後の展望】

GMO インターネットグループは、本出展を契機に、国内外のヒューマノイドロボットメーカー・研究機関・導入企業との連携をさらに深化させ、国内のヒューマノイド・エコシステムの発展に貢献してまいります。

AI とヒューマノイドロボットの進化による産業構造の変化を「インターネット革命の後半戦」と捉え、研究開発投資、人財採用、事業創出を加速させ、AI とロボットが社会や産業の現場で価値を発揮する未来を切り拓いてまいります。これにより、日本の労働力不足の解決、生産性向上、新たな産業創出を実現し、持続可能な社会の構築に貢献します。

【GMO AI&ロボティクス商事株式会社について】（<https://ai-robotics.gmo/>）

GMO AIR は、AI・ロボット事業を担う総合商社として 2024 年 6 月 18 日に設立されました。「ヒューマノイド派遣サービス」「GMO ヒューマノイド.shop」「GMO ヒューマノイド・ラボ 渋谷ショールーム」をはじめ、ヒューマノイドロボットの社会実装を支える多様なサービスを展開するとともに、GMO インターネットグループの強みであるインターネットインフラ・サイバーセキュリティ・金融サービスをあわせてご提供することで、安全で持続可能な未来の実現を目指します。

・お問い合わせはこちら：<https://ai-robotics.gmo/contact/>

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL：03-5456-2695

問い合わせフォーム：<https://group.gmo/contact/press-inquiries>

【GMO AI&ロボティクス商事株式会社】（URL：<https://ai-robotics.gmo/>）

会社名	GMO AI&ロボティクス商事株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 内田 朋宏
事業内容	■AI 活用導入支援 ■ロボット・ドローン導入・活用支援
資本金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL : <https://group.gmo/>）

会社名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード 9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資本金	50 億円